

やくがい
**薬害が起こらない社会を目指して
 私たちにできること。**

これまで見てきたように、過去には多くの悲惨な被害が起きてきました。
 私たちは、このような被害に学び、二度と薬害が起こらない社会を目指す必要があります。
 そのために何が必要なのか、私たちができることは何なのか、みんなで考えてみてください。

学習のポイント

薬害の起こらない社会にするために、どうすればいいのか次の3点から考えてみよう。

- 薬の安全性などの情報を共有し、関係者がそれぞれの役割を果たすためには具体的にどのようなことをすればよいか。
- 私たちが消費者の立場から、薬に関する情報を得たり、薬を使用して問題があった場合にはどのような情報を発信すればよいか。
- 今の社会の仕組みで改善する点はないか。どのような点を改善すればよいか。

「健康被害救済制度」について



薬による健康被害を受けた人々を救済するために、「医薬品副作用被害救済制度」などの公的な救済制度があります。これは、サリドマイドやスモンを契機としてつくられたものです。このサイトでは、薬の副作用情報も見ることができます。

Pmda 独立行政法人
医薬品医療機器総合機構
 詳しくはコチラ▶ <http://www.pmda.go.jp/>

- 医薬品の副作用情報に関する情報
<http://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>
- 医薬品の副作用による被害の救済に関する情報
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

関連サイト

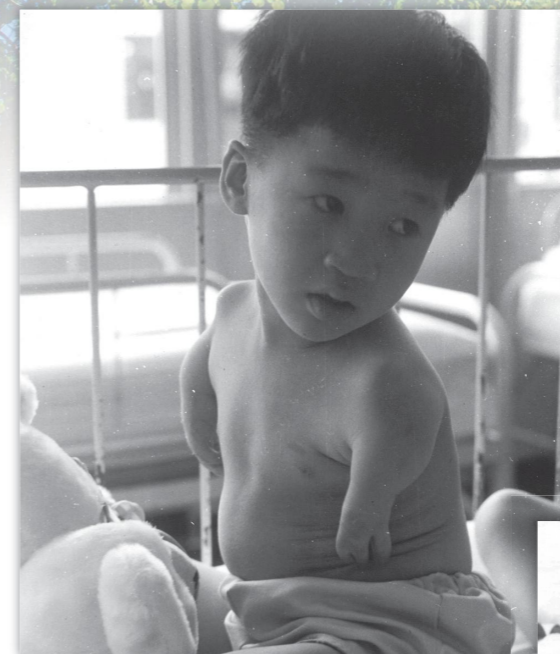
- 厚生労働省(本テキストの参考資料)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakugai/index.html>
 厚生労働省の本テキストに関するサイトです。より詳しい情報などを見ることができます。
- 一般社団法人くすりの適正使用協議会
<http://www.rad-ar.or.jp/>
 薬のリスクとベネフィットを一般消費者にわかりやすく解説しているサイトです。
 「くすりのしおり」<http://www.rad-ar.or.jp/siori/index.html>
 では、現在使われている約16,000種類の薬の詳しい情報を見ることができます。
- 全国薬害被害者団体連絡協議会
<http://hkr.o.oo7.jp/yakugai/>
 主な薬害被害者団体が加盟している協議会のサイトです。各被害者団体のサイトにリンクしています。
- 学校保健ポータルサイト
<http://www.gakkohoken.jp/>
 公益財団法人日本学校保健会が運営する子どもたちの保健に関する情報を集めたサイトです。
 「医薬品と健康(高校生)」<http://www.gakkohoken.jp/books/archives/37>では薬に関する様々な情報が掲載されたテキストをダウンロードできます。

もっと調べてみよう

【発行】厚生労働省
 〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
 ☎(03)-5253-1111 □<http://www.mhlw.go.jp>
 ※令和4年6月改訂版

年	組

薬害を学ぼう



どうすれば防げるのか?



なぜ起こったのか?



 **厚生労働省**
 Ministry of Health, Labour and Welfare

※この教材は「薬害を知り、被害にあった方々の声を聴き、薬害発生のプロセスを学び、薬害が起こらない社会の仕組みを考える」ために作られています。